



No. 67

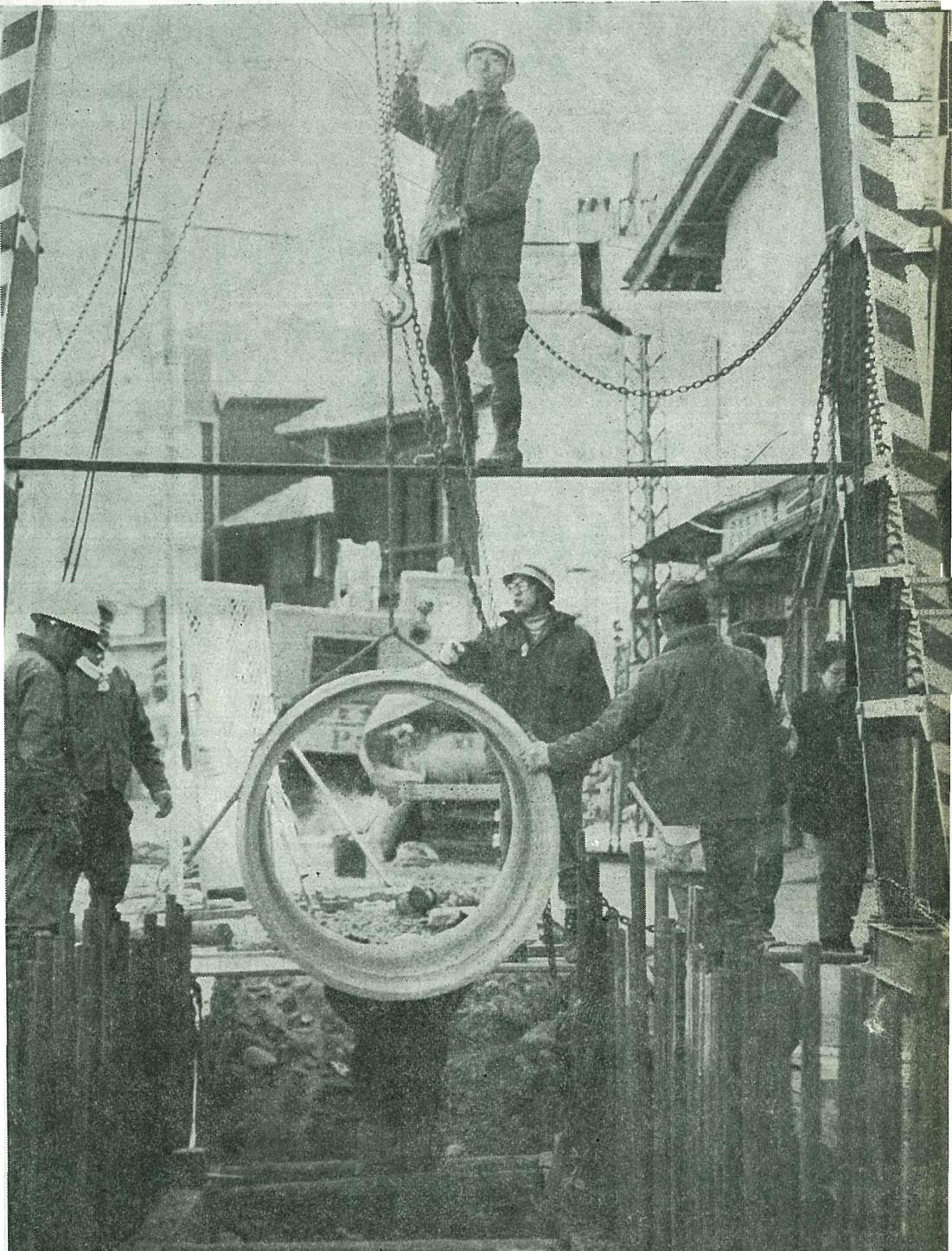
人口の動き	
総 人 口	10,057 人
男	4,505 人
女	5,552 人
世帯 数	2,373 戸
転 入	56 人
転 出	33 人

(1月末住民登録人口より)

発行／岐阜県川辺町 ■ 編集／川辺町役場総務課 ■ 印刷 中部印刷

近代都市へ

豊かな生活環境をめざして、町内各所ではいろいろな事業が進められています。下水路事業もそのひとつ。中川駅前地内では、直径一メートルのヒューム管の埋設工事が急ピッチ。より充実した町づくりへ、さらに前進しようとしています。



財政事情の公表

1万町民の家計法 —そのやりくりー

人間の特性として、よくひとの家との貧富が比較されます。これと同じように、町村の貧富も比較されることがあります。

その町が豊かであることは、ただ予算額が多いだけでは言い表わすことはできません。いいかえれば、自己財源がどれだけあり、その予算がどれだけ行政投資され、住民生活を助けているか、これによって町の豊かさがはかれるものです。

他町にくらべて予算が少なくとも、そのお金の使い方いわゆる“中味”の濃いものでなくてはなりません。

家庭のやりくりと同じように、町でも少ない収入を少しでもうまく使って、皆さんの要望にこたえるよう努力しています。

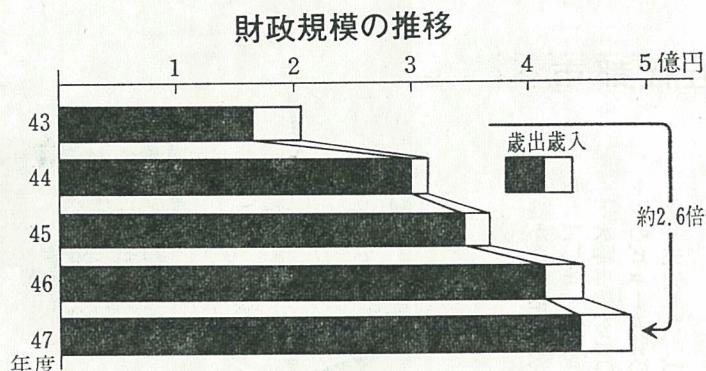
この財政運営の状況をお知らせし、町政に対する理解と協力をいただくため、毎年財政事情の公表を行なっていますが今回は昭和47年度決算状況及び48年度（7月～12月）の執行状況をとりまとめてご報告いたします。

昭和47年度決算収支状況

一般会計

財政規模の伸び

財政規模とは、一般家庭でいえば年間総収入であり総支出のことです。昭和47年度の規模は5年前にくらべて、約2.6倍と大幅な伸びを示し、これは本町1人当たり44,400円になります。

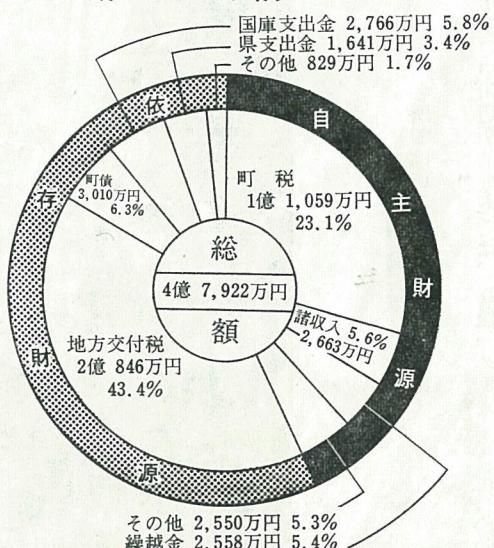


収入の状況

町民のみなさんのしあわせを高めるために必要な事業の財源（資金）となる収入の種類と金額は、右のグラフのようになります。

これからもわかるように、町税や受益者が負担する分担金、負担金などのように、町自身でまかなく自主財源は39.4%にすぎず、あとの60.6%は国県の配分にたよる地方交付税や補助金などの依存財源であり、依然として自主財源の乏しさが目立ちます。

歳入の内訳

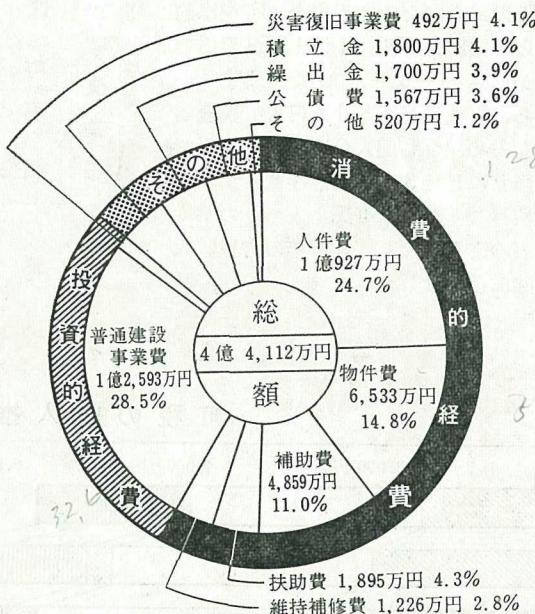


支出の状況

町の事務、事業の経費のなかには資産として将来に残る住宅や道路、橋の建設、土地改良などの建設事業費と職員の人工費、事務用品代、郵便料代などの物件費、あるいは各種団体の育成補助金などの補助費、維持補修費というようにいろいろの性質のちがったものがあります。

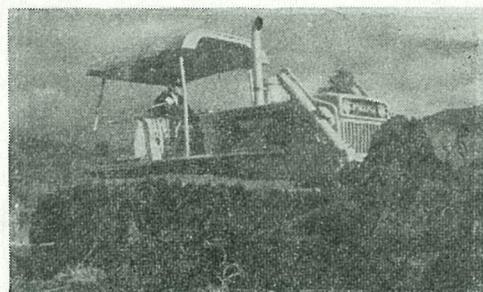
このように性質別に支出額を分類したのが右のグラフで、普通建設事業費は1億2593万円で全体の3割近くを占め、人工費、物件費補助費等のいわゆる消費的経費が約60%を占めています。なお、目的別に分類すると次の表のとおりになります。

性質別の歳出内訳



目的別の歳出内訳

款	金額	構成比	対前年比	主な項目
土木費	11,385	25.8	14.4	町道新設改良、側溝拡巾、舗装各工事、能田川辺各下水路工事 道路関係団体補助、公有財産購入、県道改良工事補助、大牧谷石積工事 ミナセ護岸工事、町営住宅管理費
総務費	10,164	23.0	+ 27.1	町勢要覧発行、交通安全対策、財産管理、広域行政推進協議会補助 電送保守、衆議院議員、農業委員選挙執行、統計調査
教育費	6,967	15.8	+ 14.5	川辺小講堂屋根補修、玄関壁工事、分校井戸取付、中学校石油倉庫工事 水銀ランプ取付、学校関係団体補助、中学校プール建設 青年婦人活動助成、特殊学級補助
民生費	5,858	13.3	+ 41.9	保育園フェンス工事、井戸改修、乳幼児医療、老人医療、国民年金事務 民生委員活動
農林水産業費	2,601	5.9	+ 56.3	ほ場整備事業補助、農作物病害駆除、農事改良組合補助 家畜予防、町有林下刈作業、大洞林道工事、荒神洞路側工事 林業団体補助
消防費	2,138	4.8	+ 18.9	消防協会補助、防火衣購入、中組及び下麻生防火用水工事 動力ポンプ及び積載車2台購入
衛生費	1,647	3.7	+ 86.1	医薬品購入、伝染病予防組合補助、一般予防接種、結核予防、環境衛生 衛生施設利用組合補助、国保会計及び水道企業会計繰出
公債費	1,583	3.6	+ 30.2	学校建設、道路新設事業債などの借入金元利償還金、一時借入金利子
議会費	1,133	2.6	+ 27.6	町議会、議員全員協議会、各委員会、議員研修開催
災害復旧費	492	1.1	- 86.3	比久見水路、南ヶ洞道路 横谷林道大洞林道、石神路側工事など
商工費	144	0.4	+ 16.1	町商工会補助、国定公園負担
計	44,112	100.0	+ 9.9	



税負担の状況

みなさんの最も関心のある税金、町税は前年度にくらべて24.1%多い1億1,059万円で収入全体からみると23.1%にあたります。

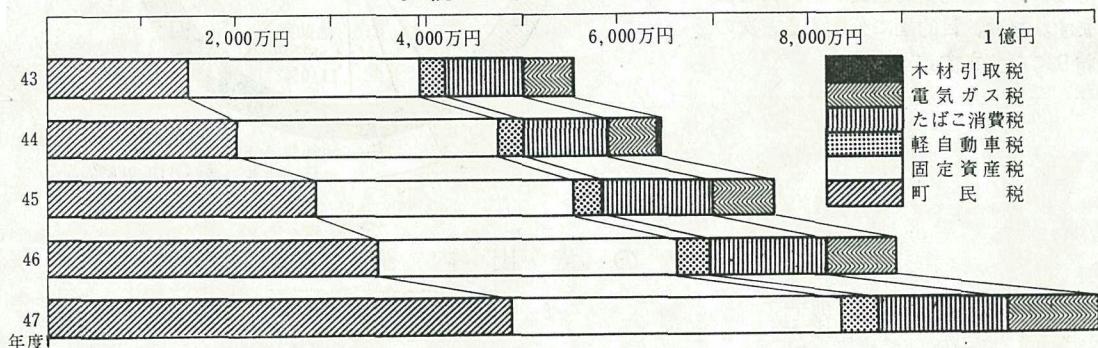
このうち、町民税が4,850万円で町税全体の43.9%を占め、うち個人分は3,108万円で町民1人当たりにして3,128円となります。

なお、税目ごとにみた町民1人当たりの平均額は右の表のようになり、5ヶ年の町税収入推移を下図に示しました。

町民1人当たりの税負担

区分	町民1人当たり		
	47年度	46年度	伸率
直接税	町民税 円 4,881	3,570	36.7%
	固定資産税 3,695	3,214	15.0
	諸税(軽自動車税) 298	289	3.1
間接税	たばこ消費税 1,345	1,153	16.7
	電気ガス税 910	755	20.5
計	11,129	8,981	23.9

町税の収入推移



特別会計

特別会計の状況

国民健康保険会計の決算は、歳入6,683万円、歳出5,731万円で歳入歳出差引952万円を翌年度へ繰り越しました。昭和47年度決算の被保険者1人当たり平均額は、保険給付費用額が14,190円で前年度にくらべ41.9%増、保険税は20.3%増の4,833円と、いずれも大幅に伸びています。

農業共済会計の決算は、歳入544万円に対し歳出430万円で歳入歳出差引114万円を翌年度へ繰り越しました。

また学校給食共同調理場会計は歳入2,162万円に対し歳出2,156万円、差引6万円を翌年度へ繰り越し、いずれも健全財政を維持しました。

特別会計の歳入歳出内訳

農業共済会計 544万円

5.8%

国民健康保険会計

6,683万円

71.2%

歳入総額

9,389万円

学校給食共同
調理場会計
2,162万円

23.0%

歳出総額

8,317万円

国民健康保険会計

5,731万円

68.9%

農業共済会計 430万円

5.2%

昭和48年度(7~12月)予算執行状況

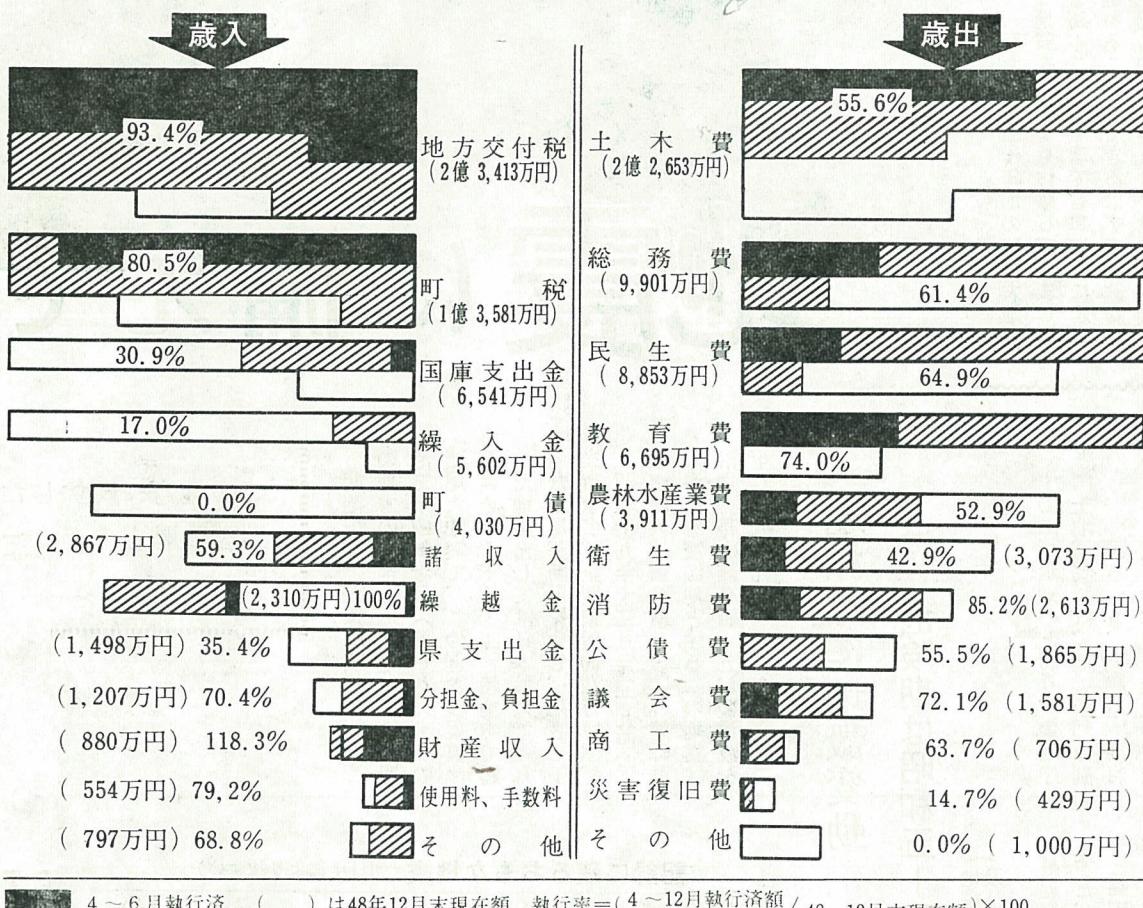
一般会計の状況

昭和48年度一般会計の当初予算は、4億5,753万円でしたが、その後補正が組まれ、年末による予算額は歳入歳出とも6億3,280万円になっています。

この予算のうち、本期(昭和48年7月から12月まで)の収支の状況をみると、歳入においては2億6,940万円で予算現額の42.6%が使われたことになります。そして、前

回公表した昭和48年4月から6月までの分を含め全体では59.6%にあたる3億7,686万円が支出されました。

一方、歳入においては本期、2億2,040万円34.8%の収入があり、前回分を含めた総収入額は年末現在で4億3,177万円で全体の68.2%が執行されました。



4~6月執行済、()は48年12月末現在額、執行率=(4~12月執行済額 / 48. 12月末現在額)×100

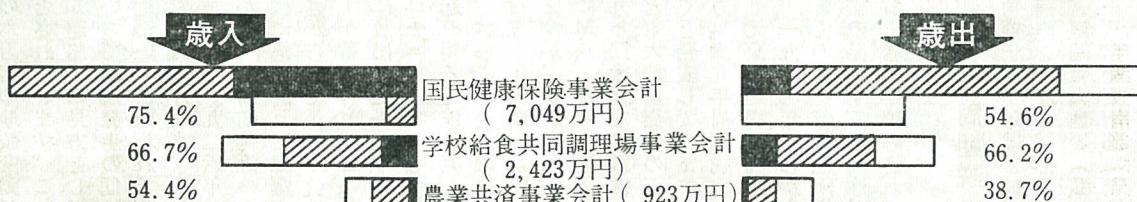
7~12月

特別会計の状況

本期(昭和48年7月から12月まで)における各特別会計の収支状況は、まず国民健康保険会計では3,141万円の歳入があり、予算現額の44.6%の収入済、歳出では3,274万円で46.5%が支出されました。

次に農業共済会計では収入された額365万円に対し278万円の支出。また学校給食共同調理場会計は収入額1,190万円、支出額1,191万円となりました。

なお、これら特別会計の前回公表した分を含めた年末現在の決算額および予算現額に対する執行率は、国保事業の歳入5,317万円で75.5%、歳出3,849万円で54.7%。農業共済会計の歳入は502万円で54.4%、歳出357万円で38.7%。また学校給食共同調理場会計の歳入は1,616万円で執行率66.7%、歳出は1,605万円で66.3%と、それぞれ健全な執行となっています。



説明:一般会計欄と同じ



地震に備えて

日本は地震が多く、私たちは五十年前の関東大地震をはじめ、大きな地震をいくつも体験してきました。地震そのものを防ぐことは無理でも二次的に起る火災などからは逃れることはできるはずです。ここでは、いつどこで起こるかわからない地震に対し、その予備知識と心がまえをあげてみました。

この地方に關係した
地震の歴史

明治以後、記録に残っているこの地方の大きな地震としては、明治二十四年十月（西一八九一）の濃尾大地震で、このときの規模マグニチュード八・四。陸地内で起つた地震としては日本最大で、有名な根尾谷断層を生じ、死者七千二百余名、全壊家屋約八万戸。

昭和十九年十二月（西一九四四）東南海大地震（M八・〇）。熊野灘の海底を震源地とするこの地震は沿岸一帯に波高四～五尺の津波を生じ、死者九九八名、全壊家屋二

六、一三〇戸、東海道線は十二列車転ぶくし、約二週間不通となつたなどの被害をうけています。

とにかけて一挙に加速し、年間千分の六万倍の地殻変動が生じ始めたとされています。これは、地震予知連絡会の見方として変動量からいって地震発生の危険率になり近づいたといわれています。

また、気象庁がまとめた報告によりますと、一九二六年から七二年にかけ、御前崎付近の地震震央分布図にあらわされた地震空白地帯の広さからみてかなりの地震エネルギーが蓄積され、このひずみを一気に放出した場合、その規模はマグニチュード七・七ぐらいの地震が起り得る可能性大とされています。さらに、遠州灘は過去百年から百五十年毎に大地震が発生していますが、安政元年（一八五四年）にM八・四の大地震発生以来百十九年間大きな地震はなく、このことも大地震発生の可能性に結びつくと発表しています。

記録に残るおもな地震（朝日年鑑より抜すい）

西暦	地震名	規模(M)	被
1707	東海道冲地震	8.4	5畿7道太平洋沿岸に大津波、富士山に宝永山現出
1847	善光寺	7.4	死者12,000人、被害家屋37,500戸
1891	濃飛大	8.4	岐阜～福井間に根尾谷断層現出
1923	関東大	7.9	旧東京、横浜市、鎌倉、横須賀の大部分焼失死者9万9千人
1933	三陸津波	8.5	青森、岩手、宮城など津波による溺死者3,000人
1964	新潟	7.7	新潟昭和石油タンク火災、被害家屋8,600戸

遠洲灘に地殻変動 危険期は昭和五十三年から

（地震予知連絡会の調査結果
及び六九年周期説より）

河角博士は十年ほど前、鎌倉の古記録整理中、南関東大地震（弘仁九年）西八一年関東南部に発生、諸国在死者多数を出したM七・九（関東大震災と同規模）に関する資料

すでにご承知のとおり、象氣院と国土地理院では、地震予知体制の強化を図る一方、東海地方においても地殻変動と地震発生の可能性について、科学的な調査をはじめています。

最近発表された調査結果によりますと、静岡県御前崎付近の榛原町と高天神山を結ぶ十八キの間において、一八九〇年から一九五六年まで毎年千分の一万多倍の縮んでいたのが、一九五六からこ

河角博士は十年ほど前、鎌倉の大仏補修を行ない、その古記録整理中、南関東大地震（弘仁九年）西八一年関東南部に発生、諸国在死者多数を出したM七・九（関東大震災と同規模）に関する資料

その後調査を続けたところ、もつと古いこの南関東大地震後、ほぼ六九に一回の割り合いでM七クラス以上の大地震が起っているのがわかり、学界で発表、いまひとつ定説とされています。

過去17回のうち12回 まで地震の裏づけ

ほぼ六九年に一回というのは、ピタリ六九年目ではなく、ほぼプラスマイナス十三年を「地震の危険期」とよびますが、これをいまにあてはめてみますと、関東大震災(大正十二年)西一九二三年の前年から六九年目は昭和六十六年であり、十三年手前の昭和五十三年(一九七八)から危険期にはいるわけ。河角博士の学説は、地震の過去実例から十七回の時期に十二回も実際地震が発生していることを裏付けており、あと五年足らず?

以上のとおり、地殻変動量及び地震エネルギーの蓄積状況、さらには「六九年周期説」等からみて遠州灘の空白地帯は大地震発生の可能性があり、自然の法則は冷たく危険期の接近を告げています。

しかし、現在のところ、いつ、どこで、どの程度の規模の地震になるかは明確ではなく、お互いにこの日本に住むものの避けることのできない宿命として、日ごろの訓練と心構えこそ大切だといえます。

グラッパ! そのときの心得

まず火の元の始末をする

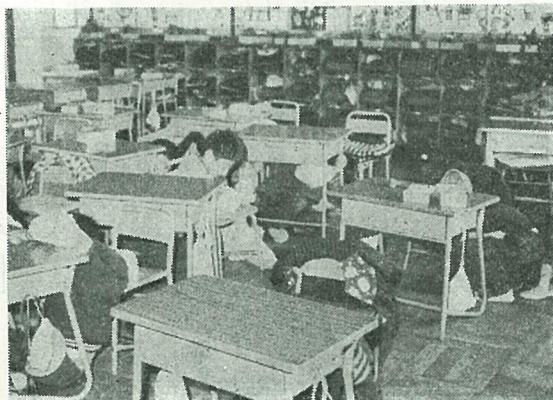
あわてて飛び出すのは危険

あわてて外に
とび出すな

大地震のときは、本能的にとび出る傾向がありますが、かえって危険です。十勝沖、新潟地震など過去の例からみても落下物に当たってケガをしたり、死亡した人がたくさん多いということです。

地震を感じたらまず、机やベット、安定のある家具の下や柱に身を寄せ、落下物をさけながら判断する。

一階の場合は損壊率がかえって低いから安全。二階からとびおりたりしないでようすをみてから避難することです。



いざという時に備えて
避難訓練を川辺小

あわてず敏速に▽石油ストーブのコックをしめる▽ガスの元せんをしめる(ふだんから、プロパンガスボンベを倒れないようくさりで固定する)▽電気器具類はスイッチを切ること。

隣り近所で
協力して

火災のときは隣り近所お互いに

励ましあつて初期消火がたいせつ。ひとりやふたりの力では大きくなるだけ。緊急の場合の優先度はこれが一番です。火の始末と同時に家族の者、隣り近所の人が倒れたり建物の下敷きになつていなか声をかけあつて確認を、救出は協力して。

安全避難の心得

早く避難したい 少しでも荷物を持ち出したい 家中いつしょに行動したい……だからと

非常持ち出し品
▽通帳、証書類、印鑑▽懐中電灯▽トランジスターラジオ▽水筒(緊急食糧)▽下着類▽最小限の毛布かふとん▽救急医薬品▽もめんふろしきカリュックサック

非常持ち出し品

デマにまどわされないよう

災害が大きくなると、事実無根のデマが流れがち、火事のつぎにこわいのはデマによって人びとがおびえることです。

公共機関のテレビ、ラジオ速報情報に注意。正しい判断をすることがたいせつ。「新潟地震調査」によれば、デマ、流言の類を聞いた人は約四〇割もあり、そのうち半数の人たちはデマを信用したといわれています。

そのとき、どんなデマがあつたかというと「もつと大きな地震がくる」、「誇大な被害である」、「有毒ガスの危険がある」……などさまざまですが、どれも人心の不安をあおるものばかり。

現在役場には県の防災無線と組合した正確で速い情報施設が完備しており、公共の情報とともに注意し指示に従つた統一ある行動をとりましょう。

いつてクルマで避難するのはダメ車で道路はうづまり、そこへ車に火がついたら道路はたちまち火の海になることは明らかです。

避難は必ず徒步で、隣り近所協



○ハタチの主張



急テンボな世の中を

生きぬくために

学生／鈴木義明

きょうは私たちのために、かくも盛大な成人式を催していただきことしめでたく成人になられたみなさまとともに、いろいろと今まで育ててくださったご両親、その他めんどうを見てくださった多くの方に心から厚くお礼申し上げます。

私もことしで二十歳になつたわけありますが、正直なところ人を迎えるにあたつて、これといつ深い考えはありません。しかし、このときを境いにたとえば飲酒、喫煙は公けに認められ、選挙権がもてるようになり自分自身が実際に政治というものにかかわりあうようになつてくるなど、今までできなかつたことが可能になります。

このことが何を意味するかといえば、おとなとして一応認められることはもとより、ひとりの人間として独立し、今まではたいした問題でもなかつたことでも、さまざまな場合において責任が生じてくるのです。

私はあと二年、いやもしかする

と三年くらいは親のすねをかじる生活が続きます。きょう、ここにこれらの方々は、もうすでに立派な社会人としてやつてみえるわけですが、そういう意味では私などはまだ社会的なきびしさに実際接しているわけではなくいうなれば成人としては、あまりに口ばしの黄色いヒヨコ的な存在のような気がします。もし、そなうなれば、みなさま方からご指導願えることがありましたら、いつでもよろしくお願ひしたいと思います。

ところで、社会のきびしさといえば数年来、日本中で騒がれていた公害問題、そして昨年から一層はげしさを増したインフレの波などにより、ことしは戦後の日本の歴史のなかでもあまり類を見ない問題の多い年となるような気がいります。このような年に成人式を迎えるというのも、私たちにとって何か考へさせられる意味のあることかも知れません。みなさんもこの空はこのままであり、そしてこの町を流れる飛騨川もこのままであると誰がいいきれるでしょうか。

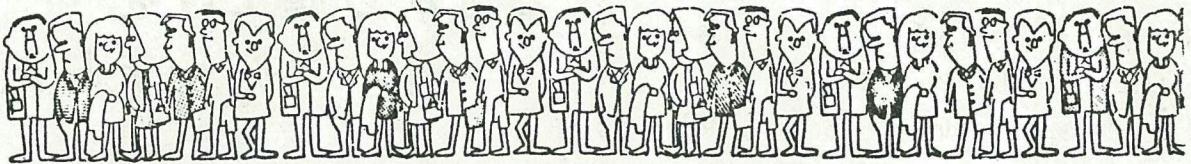
最近、大予言という本もすごい売れゆきをみせています。これは一体何を意味するものでしょうか。たとえば、もし今よりずっと人びとの心の中に危機感の少なかつた十年前に、『日本沈没』が出版されたとしても読者の多くは、おそらくこれをいつ風変たSF小説として読んだことでしょうし、あれほどのベストセラーにはならなかつたことだらうと思ひます。

しかし、現在この二冊の本のどちらかでも読み終つた人の多くには、それだけでは片付けられない何かいいようのない現実的な危機感が襲つてきたに違ひありません。数年さわがれてきた環境汚染公害による人体への影響、資源の乱獲、自然破壊はいつこうにおどろえをみせません。

今こそ、この岐阜県の空にスモッグもなく夜になれば星がびつりと輝きわたります。しかし将来もこの空はこのままであり、そしてこの町を流れる飛騨川もこのままであると誰がいいきれるでしょうか。

が、それぞれの人が考へてみるべき問題でしよう。成人を迎えて、みなさまの中にもさまざま抱負をもたれた人は多いと思います。これを機会に禁酒、禁煙をする人もいるかも知れませんし、何か大きな決意をもつた人もいること

○ハタチの主張



抱負といったものはありません
があていうならば、今までより
以上に自分を見つめ、世の中とい
うものを見つめていこうと思つて

あります。

今までいろいろと私たちをご指
導くださった方々に対し、再びお
申し上げ、むすびの言葉とさせ
ていただきます。

大きな視野をもつて

若者らしく

学生／平岩 恵子

く社会の一員として「おとなな社
会」へ組み入れられることにな
ります。

しかし、二十歳を迎えたからと

いつて、すべての者に社会人とし
て必要な判断力、責任感があると

は限らないと思います。私が大学

二年間の勉強の総まとめとして、

昨年十一月十九日より一ヶ月間、

岐阜市にある長良西小学校へ教育

実習に行き、初めて理科の授業を

受けもつたときのことです。

「音は反射するでしようか。そ

れとも反射しないでしようか」

という私の問い合わせに対して、子ど

もたちは次々と発表してくれまし

た。しかし、それにくらべ私は、

ひとひとりの発表を理解する余

裕もなく、ただただ子どもをあて

て発表させるだけの授業で終つて

しまいました。

授業を行なううえでの理想的姿

は、ひとりひとりが主人公になる

ことができる授業、そして、ひと

ひとりの個性を尊重し、伸ばす

どこかで燃えている
夜明け目指して
歩きつけた私
胸をこがして
ひたむきにいつも
前を向いて歩きつけ
戦いを知つた
わたしは二十歳
私たち、きようここに成人式
を迎え、はれて成人として社会に
むかえられることになりました。
私にとって二十歳の春は、学生
生活を終えて、社会に巣立つ記念
すべき年でもあります。

この日を迎えることができたの
は両親、恩師そして私をとりまく
まわりの人々の並々ならぬ深い愛
情ご指導があつたものと深く感
謝しております。「子供だ」といわれることもなくなり、「お
となの世界」へ第一歩を踏み出す
ことになります。選挙権が与えられ、法律のうえでも一人前の社会
人として取り扱われ、いやおうな

授業であると私は思っています。

しかし、実際に教壇の上に立つてみて、理想とあまりにかけ離れて

いる自分の姿にガク然としまし

た。子どもとの応答だけに必死になつて、自分の気に気づき、知識の

浅さ、未熟さに今さらながら驚か

ずにはいられませんでした。

さいわい、子どもたちと先生方

との大きな思いやりとご指導に助

けられて、未熟な私も一ヶ月間な

んとか授業を続けることができま

した。でも、これは教生中だから

こそ許されたことであつて、社会

の一員となれば世間の人々から一

人前の人間として取り扱われ、そ

んな甘えは通用しないでしよう。

私たちが、いやおなく組み入

れられるおとなの社会……。「お

となの社会」ということばは、私

たち若者に何を連想させるでしょ

う。権力と組織の横暴、汚職、因

習と矛盾、無力感と惰性、お世辞

にもよい社会とはいえない社会で
あるように思います。教科書で勉

強したような社会ではないようで
す。しかし、だからといって、私
ひとりだけでは生きていけないし
また、ある世代だけが生きている
のでありますから、この社会

を拒絶するわけにはいきません。
私たちが、こうしてある意味で
は豊かに生活しているのは、昔か
ら伝えられた文化のおかげだ
と思うと、親の世代から引き継い
だ文化を発達させ保存し、次の世
代へ申し送る義務が、人間にはあ
ると思います。この義務ある人間
のひとりとして一世代として、私
たちは生きていかなければならな
いと思います。

今、日本をとりまく問題は物価
高、公害、生活必需品の欠乏、国
際関係における日本の立場などが
あり、人びとはともすれば廢弛的
な気持ちに陥つてしまふ傾向に
あるように思います。

そこで二十歳を迎えた私たちは
新しい文化創造のために未熟なが
らも大地に足を踏みしめ、あせら
ず大きな視野をもつて若者らしく
社会に、自己に甘えることなく進
んでいくことがたいせつなでは
ないでしようか。

私は、私の選んだ職業において
精いっぱいがんばり、いつの日か
足跡をぶり返つたときに、悔いの
ない青春を送ったのだといえる、
そんな毎日を送りたいと思いま

学校給食用物資の上昇率表

品名	単位	48年4月	9月	49年1月	上昇率%
小麦粉	1kg	52	—	72	38
こんにゃく	1枚	29	29	35	21
でん粉	1kg	100	—	148	48
フレンチポテト	ク	—	135	180	33
砂糖	ク	123	131	(160)	30
揚げ油	1斗	1,800	2,800	5,000	172
大豆	1kg	245	270	278	13
豆腐	1丁	40	45	60(2月)	50
味噌	1kg	190	190	240	26
かしわ	ク	500	600	650 (12月)	30
スパゲティー	ク	78	95	105 (12月)	34
たまご	ク	—	193	300	55
レーズン	ク	220	320	340	54
みかん	1缶	369	369	385	40
バイン	ク	480	479	572	19
五月豆	1kg	—	139	170	22
ケチャップ	1缶	439	530	880	100
カレールウ	1kg	240	240	310	29
マーガリン	10g	2.80	3.95	5.30	89
チョコクリーム	8g	3.20	4.35	4.90	53
いちごジャム	15g	2.90	3.40	4.80	66
一食マヨネーズ	ク	4.30	4.10	8.09	97
マロニエ	1kg	210	225	410	95
一食コーヒー	10g	3.30	3.20	5.19	57
冷凍食品	60g	—	—	—	20~60
ジャム加工費	小	6	10	12	100
1月の平均上昇率				52.5	

2月から値上げを実施しました



昨年の石油危機がもたらした諸物価の上昇率は、史上最高といわれています。これにともなつて、学校給食用物資の値上がりも例外ではなく、一月現在で二・五割の上昇となり、今までの給食費で運営することに當ることには、きわめ

タ一運営委員会では、給食費の値上げを検討し、育ちざかりの子どもには体づくりに直接大きな影響を与えるものであり、少なくとも従来の栄養レベルを維持する必要があると結論がだされ、二月一日より値上げを決定しました。

そこで、二月二十二日給食セン

ターの給食費での運営は、栄養面において、たとえばパンの添加物やデザート品を中止したり、または質を落としたりしなければならず、最低限の栄養価を保持するのさえむずかしいところでした。

この結果、二月二十二日給食センターライフ協議会では、給食費の値上げを実施することになりました。これまでのところは、きわめ

△中学校一食当りの給食費	(値上げ前)			(値上げ後)		
	洗剤	牛乳	パン	洗剤	牛乳	パン
計	90円00銭	58円00銭	14円90銭	80円00銭	50円92銭	13円98銭
計	90円00銭	58円00銭	14円90銭	80円00銭	50円92銭	13円98銭
(二・三月後)	120円45銭	88円45銭	14円30銭	106円73銭	77円65銭	13円98銭

なお、値上げ前とあとの小中学校別の1食あたりの給食費の比較は次のとおりです。

△小学校一食当りの給食費
(値上げ前)
△中学校一食当りの給食費
(値上げ後)

二月一日より役場分室を次のように一部移転しました。
△今まで第二瓶庫二階にあった教育委員会事務局は役場庁舎二階(もと産業課の室)へ、△産業課は川辺小学校南校舎の一室(土地改良課、土地改良区と同室)へ移転、なお、この移転によって電話番号も次のとおり変更になりました。

△土地改良課、土地改良、区産業課 II 二三七四
△下麻生公民館 四〇八三

三種混合のおしらせ

二回目の三種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風)の予防接種を次により行ないます。

△中央公民館 三月七日
△下麻生公民館 三月六日

時間はいずれも午後一時から午後二時まで。
当日、必ず体温を測定して会場へ行ってください。

町営住宅の入居者募集

町営住宅、比久見団地二十戸の建築完成も間近となり、ついで次により入居者の募集をいたします。
△規格 簡易耐火構造平家建
△面積 三九・四五坪
△規模 八帖・六帖・台所

おしらせコーナー

時間はいずれも午後一時から午後二時まで。
当日、必ず体温を測定して会場へ行ってください。

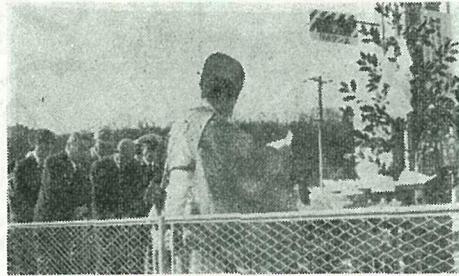
昭和49年2月20日発行

(1) 広報かわべ No. 67

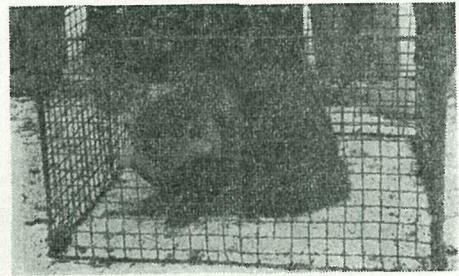
カメラルボ



ことしの入学予定児童数は川辺小93人、分校32人、上米田小29人、下麻生小15人の合せて169人です。間近にせまった新入学に備えて身体検査や簡単な知能テストを行ない、よい子たちはみんな胸ふくらませていました。



下川辺地内、丸大スプリング前の国道横断歩道に押ボタン式の信号機が完成、さる1月19日その点灯式を行ないました。また上川辺川辺大橋橋詰の国道にかかる信号機も、この日から正規に作動開始しました。



さる1月28日雪の降る早朝、上米田保育園正門前にひよっこりタヌキが現われ、生け捕られました。しばらくよい子たちのお相手にされていましたが、野性で凶暴性のあることからはく製にし、教材の資料とされました。

おしらせコーナー

四十九年度分固定資産税の納期を五月に変更

固定資産課税台帳の総覧期間は、毎年三月一日から三月二十日までと定められ実施してきましたが、本年度は小規模宅地に対する固定資産税の軽減などの法律改正が三月下旬に行なわれる見通しですので、総覧期間を四月十日から四月三十日までに変更いたします。

なお、これに伴い納期も第一期を五月一日から五月三十一日までに変更いたします。

精神薄弱児をもつ親の心がまえ

治療ができないため絶望してしまって、精神薄弱児のことを放任してしまったり、あるいは逆にぶりのあまり過保護になつたりする方が多いようですが、どちらも正しい態度とはいません。

絶望してしまった方は頭のはたらきが弱いことを、子どもにとっては致命的だと考へているのでしょう。しかし、人の尊さは頭のはたらきがすぐれているとか弱いといふことは、直接関係はないのですから、子どもの頭のはたらきが弱いということには、あまりこだ

わらないことが大切なのです。

たとえ知能の面ではすぐれていても、心が冷たく自分の欲望をみたすためには手段を選ばず、人に迷惑をかけているのであれば、そな人はとても尊い人間だとはいえないでしょう。

精神薄弱児は知能の面では人に負けるでしようが、人をうたがうことのできない純真な心と、あたたかい思いやりの心をもつて、せいいっぱい生きづけようとしています。どうかそのような優れたとりえをのばし、子どもの心に生きるよろこびをつくつていってください。——それが精神薄弱児をもつ親や教師のつとめなのです。

精神薄弱児問題を考える

(3)

すなわち、親が子どもにすべきをえることもできません。

今まで精神薄弱児をもつている親たちは、あまりにも遠慮しすぎだと思います。いつまでも正しい要求をしないと関係者や社会の人びとの無理解がつづくでしよう

第一のことは、子どもの心に平安をもたらし、なんの不安もなくのなかにつくりあげることです。

それは放任でもなければ、なんでも親がしてやることでもあります。子どものできること、やろうとする気持ち、のびようとする芽をみつけてその成長を助けてあげることです。家庭のなかが明るく、あたたかいものであることが大切であることは申しますでもあります。また近所の子どもたちとできるだけ接触させるように努めじめられるとかわいそだだからといって家のなかに閉じこめておきますと性格的にも暗く、いじげた子どもになってしまいます。また、近所の人びとの正しい理解と関心

▽家賃

月七千五百円の予定
▽敷金

家賃の三ヶ月分

▽入居資格

収入があつて、独立の生活を営み条例に定める家賃及び敷金を支払う能力を有する者であること。

(1) 令第五条に規定する基準の(2) 現に同居し、または同居しようとする親族(事実上、婚姻の関係と同様の事情にある者、その他婚姻の予定者を含む)があること。

(3) 現に住宅に困窮していることが明らかなる者であること

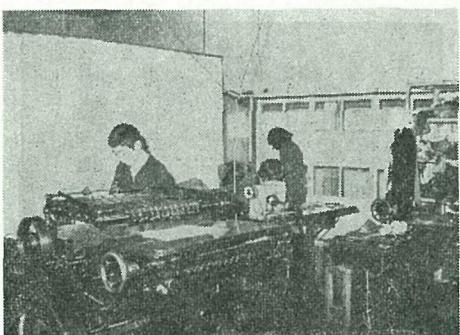
(4) 前各号のほか、町長において入居の必要を認める者。

▽入居者決定、抽選で行なう

▽入居月日 昭49・4・1予定

▽申込手続き、役場土木課

なお、すでに申込みされている方は、改めて申込む必要ありません。



特殊学級では技術の習得も

家
庭



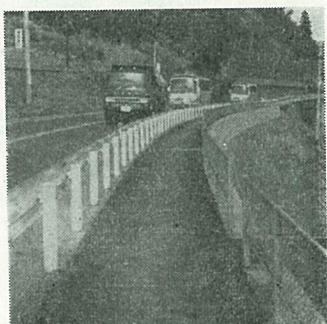
間に過ぎていってしまいます。お子さんがたの進級、進学はもとより、卒業、就職など一般のご家庭でも心配とよろこびが重なって落ちつかない日がつづきます。農家では間もなく始まる農作業への準備などで、忙がしくなるのは目に見えてきました。とくに進学するお子さんをお持ちのご家庭では、いまの受験制度をもう少しなんとかしてやりたいと思っているお母さんも多いことでしょう。

交通事故

自転車・歩行車は
専用歩道を

自転車、歩行車を交通事故から
守るために建設省では、かねてか
ら下川辺地内の国道に「自転車、歩

りっぱに完成しました。悲惨な交通事故からわが命が身を守るため、自転車、歩行者は必ず、この歩道を通りましょう。



おめでた

出生

おくやみ

ところでその頃、下川辺の城に毛利助右エ門之尉佐宗という者がいて、下川辺川合、米田の西脇を領有していた。この人ははなはだ残忍な性格の持ち主で、領内の百姓をばかにしてからかい、虐待するに遠慮がなかつた。どの時代にも異常性格者はいるものだが、彼は人を木に登らせて鉄砲でねらい撃ちしたり、川を渡らせておいて、それを撃ち殺したりした。また、はなはだしいときは、



—②—

断と勇ましい意氣で、毛利の所業に、正義のためにふるい立とうと、敢然として大力をとつて立上がつたのである。

婦女子を四ツんばいにさせ、た
いまつの火で臀部を焼いたり、
妊婦の腹を切り開くなど、ちま
たに伝える忠直郷の行状にも劣
らぬほどの残酷ぶりを發揮し、
非道の限りを尽していた。

このうわさは、やがて近隣に
も伝わって長寿丸の耳に入つた
長寿丸は肥田玄蕃の息子で、
永録十年に弱冠十三才になる紅
顔の少年であつた。長寿丸は年
の若いのに似ず、思い切った決
断と勇ましい意氣で、毛利の所
業に、正義のためにふるい立と
うと、敢然として大刀をとつて
立上がつたのである。

手が山田左次工門といふ順で家
中一統、それぞれ、役割りを決
め、勇躍して毛利の城をめざし
て出発した。

ときは陰暦八月十八日の夜半
夜露にしつとりと濡れた草を踏
んで城を下りた一隊は、柄井村
の渡しをしずしずと渡り、下川
辺の陣辺野へ進んだ。ここに幕
を張り、かがり火を焚き、旗券
をなびかせ士氣軒こうたるもの
があつた。

長寿丸が、腰の一刀を抜き放
つて手近がの松に切りつけると
白刃はひらめき、松の枝はドサ
リと足許に落ちた。

「さい先がよいぞ！」さあ、
急げ」と、部下の大将と兵士に
かしこまつて一礼し、毛利の城
に向つていつ時にどつと、とき
の声をあげた。直ちに、くわね
のかぶとを着けた各務小左工門
が馬にまたがつて、槍を右の小
脇にかかる、敵陣めがけて駆け
込んだ。

下飯田	鹿	塩	下川辺	中川辺	上川辺	下麻生	謹んでおくや申し上げます
村上ツツミ	井戸シズエ	木下ますよ	鈴木	佐合ふじゑ	栗山	山口	杉山 喜一
才才才才才才							
70	62	79	0	58	75	69	87
才才才才才才							
86	81						